

自己評価報告書(最終報告)

報告者

芸術系コース(音楽)
／山根 秀憲

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

Ⅰ. 学長の定める重点目標

Ⅰ-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

個々の楽器の演奏法や楽曲の理解、アンサンブルでの役割の理解に向けて、学生が互いに気づきを共有できるような授業を目指してきた。また、学校教材との関連した楽曲選びも行っている。具体的な留意点は次の通りである。

- ①授業内容 学生個人個人の学習段階に応じた課題に基づいて授業を行う。
- ②授業方法 単に楽器の演奏が上達するだけでなく、音楽の流れや課題への取り組みについて、具体的な指導場面を想定し、言葉で説明することができるような場面を、これまでと同様に設定する。
- ③成績評価 演奏の能力だけでなく、毎回の授業における、言葉で説明の様子も加味して評価を行う。

2. 点検・評価

- ①授業内容 毎年、様々な学習段階の学生が管楽器分野の授業を履修する。本年度は異なる学習段階の学生が特に多く、一斉指導は困難で個別対応する場面が非常に多かった。
- ②授業方法 音楽の流れや課題への取り組みについて、具体的な指導場面を想定し、言葉で説明することができるような場面をできるだけつくりだした。
- ③成績評価 演奏の能力だけでなく、毎回の授業における、言葉で説明の様子も加味して評価を行った。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①「管弦打楽器演奏基礎」「管弦打楽器」の授業において、学生の状況に応じた曲目を選定し、アンサンブルの機会を作るようにする。
- ②「器楽」の授業で得られた学生の準備状況や希望を参考にして、「管弦打楽器演奏基礎」「管弦打楽器」での指導を行う。
- ③管弦楽分野について学生が自学自習できるような資料の充実と利用促進を図る。

2. 点検・評価

- ①「管弦打楽器演奏基礎」「管弦打楽器」の授業において、学生の状況に応じた曲目を選定し、アンサンブルの機会を作った。アンサンブルする際、ある程度的人数であることが望ましいを痛感している。
- ②「器楽」の授業で得られた学生の準備状況や希望を元に、「管弦打楽器演奏基礎」「管弦打楽器」での指導を行った。同一の楽器の学習を継続して学習することを学生に求めているが、学期ごとに楽器を変更する場合もある。このような学生に対する指導が今後の課題の一つである。
- ③管弦楽分野について学生が自学自習できるような資料の収集を引き続き行い、必要な学生へ利用を促した。以前の、VTR等の利用を前提とした教材は、次第に使えなくなっている。今後は、モバイル環境で利用できる教材へシフトしていく必要がある。

Ⅱ－2. 研究

1. 目標・計画

- ①徳島バロックアンサンブル、広島弦楽合奏団との連携により、従来からの研究テーマ「バロック音楽の研究」を継続して行なう。
- ②中国及び台湾の民族音楽専門家との連携により、民族音楽に於ける個々の楽器のための作品及び合奏作品について研究を進める。

2. 点検・評価

- ①徳島バロックアンサンブル、広島弦楽合奏団との連携により、従来からの研究テーマ「バロック音楽の研究」を継続して行った。
- ②中国及び台湾の民族音楽専門家との連携により、民族音楽に於ける個々の楽器のための作品及び合奏作品について研究を行った。

Ⅱ－3. 大学運営

1. 目標・計画

- コース選出の大学院教務委員会委員として、本学の運営に貢献する。
コース選出の教員免許状更新講習実施委員会委員として、本学の運営に貢献する。

2. 点検・評価

- コース選出の大学院教務委員会委員として、本学の運営に貢献した。
コース選出の教員免許状更新講習実施委員会委員として、本学の運営に貢献した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①徳島市,広島市の音楽団体との交流を行う。(社会連携)
- ②台湾(台北市及び高雄市)の民族楽団との交流を行う。中国(北京市)の民族楽団との交流を行う。(国際交流)

2. 点検・評価

- ①徳島市,広島市の音楽団体との交流を行った。(社会連携)
- ②台湾(台北市及び高雄市)の民族楽団との交流を行った。中国(北京市)の民族楽団との交流を行った。(国際交流)

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)